

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月6日

上場会社名 株式会社ヴィア・ホールディングス
 コード番号 7918 URL <http://www.via-hd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 大場 典彦
 (氏名) 能仁 一朗
 TEL 03-5155-6801

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	18,838	△11.8	650	△47.9	491	△51.7	383	△17.0
25年3月期第3四半期	21,351	△6.3	1,248	△1.2	1,016	△3.4	462	△52.4

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 531百万円 (34.9%) 25年3月期第3四半期 394百万円 (△57.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	15.78	—
25年3月期第3四半期	19.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	19,955	4,551	22.8	88.44
25年3月期	22,128	4,135	18.7	66.43

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 4,551百万円 25年3月期 4,135百万円

(注) 「1株当たり純資産」の算定は、(期末純資産の部合計－優先株式の発行金額)を期末の発行済株式数(自己株式数を除く)で除して算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注1) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況であります。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

(注2) 26年3月期の普通株式の配当金額は未定であります。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,100	△11.5	1,000	△32.6	700	△34.5	450	△53.1	13.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 株式会社暁印刷
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	24,329,600 株	25年3月期	24,324,700 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	2,500 株	25年3月期	2,426 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	24,326,055 株	25年3月期3Q	24,321,172 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

(A種優先株式)

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	50,000.00	50,000.00
26年3月期	—	—	—		
26年3月期(予想)				50,000.00	50,000.00

(注) A種優先株式は、平成23年9月に発行しております。発行時に定められたA種優先株式発行要領に基づき、平成24年3月期より配当を実施しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融政策及び経済対策の効果や米国経済の回復基調の影響により円安・株高が進み、企業収益や個人消費にゆるやかな回復が見られました。一方で、新興国における景気減速に対する懸念は根強く、また、国内においても円安による物価の上昇や消費増税による先行きの不透明感が未だ拭えない状況にあります。

外食を含む国内消費財分野においては、高級消費財を中心とするハイエンド分野において消費行動の改善の兆しが見られましたが、全体的な消費マインドの大幅な改善には至っておりません。特に外食業界においては、一部の業態に改善の兆しが見られるものの、回復ペースはまだらであり、業界として本格的な需要回復には至っておりません。特にファストフード市場や居酒屋市場は依然として熾烈な競争状態にあり、厳しい経営環境が継続しております。

こうしたなか、当社グループにおいては、平成25年5月に今後の大きな飛躍に向けた5ヵ年の中期経営計画『Dynamic Challenge 500 ～新たな成長で、新たなステージへ～』を策定し、「既存業態のブラッシュアップと新規出店の加速化」「フランチャイズ店舗の積極展開」「M&Aによる経営資源の強化とドミナント形成の推進」を戦略方針に掲げ、それぞれの施策を進めてまいりました。

新規出店については、立地開発のための人員や情報収集ネットワークの体制が整い、計画どおりの出店を見込んでおります。既存店については、販促による値引や節約意識の影響などにより客単価は前年を下回ったものの、客数は前年を上回ること、売上高においてはほぼ前年水準を維持することができました。

売上原価については、円安の影響による食材価格の上昇等により大幅に悪化傾向にあったものの、品質の向上と粗利益の確保に向けたメニューミックスを行い、店舗の売上原価率は前年に比して0.6%アップに抑制しました。販売管理費については、人件費のコントロールを中心にコスト削減をすすめてまいりましたが、新規出店の体制整備による先行的な人員増加やエネルギーコストの継続的な増加等により、売上販管費率は前年に比して上昇しました。

また、平成25年4月24日には連結子会社である暁印刷の株式を全て売却し、598百万円の特別利益を計上しました。これにより当社グループは、当社と4社の事業子会社からなる外食専門の企業グループとなりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は18,838百万円（前年同四半期比11.8%減）、営業利益は650百万円（同47.9%減）、経常利益は491百万円（同51.7%減）、四半期純利益は383百万円（同17.0%減）となりました。なお、前年同四半期の実績には売却した暁印刷の業績が含まれており、当第3四半期連結累計期間の実績には暁印刷の業績は含まれておりません。

報告セグメントについては、当社グループは当期から外食サービス事業のみの単一セグメントとなりましたので、記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2,172百万円減少し、19,955百万円となりました。これは、連結子会社であった暁印刷の株式譲渡等により、受取手形及び売掛金が713百万円減少したこと、有形固定資産が549百万円減少したこと、敷金及び保証金が185百万円減少したこと等によるものであります。

一方、負債の部では、支払手形及び買掛金が761百万円減少したこと、短期借入金が494百万円減少したこと及び長期借入金が750百万円減少したこと等により、負債合計は前連結会計年度末に比べ2,588百万円減少し、15,404百万円となりました。

純資産の部は、資本剰余金が剰余金の配当により120百万円減少したこと、利益剰余金が四半期純利益により383百万円増加したこと、その他有価証券評価差額金が142百万円増加したこと等により、純資産合計は前連結会計年度末に比べ415百万円増加し、4,551百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ4.1ポイント上がり22.8%となり、1株当たり純資産額は88円44銭となりました。

②キャッシュ・フローの状況分析

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動による資金収入723百万円（前年同四半期比56.4%減）、投資活動による資金収入554百万円（同1,080百万円増）、財務活動による資金支出1,625百万円（同25.6%減）により、前連結会計年度末に比べ347百万円減少し、2,698百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は723百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益917百万円、減価償却費787百万円、のれん償却額107百万円、減損損失99百万円、子会社株式売却益598百万円及び法人税等の支払額380百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の増加は554百万円となりました。これは主に、子会社株式の売却による収入624百万円、貸付金の回収による収入603百万円、敷金・保証金の回収による収入222百万円及び既存店のリニューアルや新規出店等に伴う有形固定資産の取得による支出802百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は1,625百万円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出1,244百万円、リース債務の返済による支出119百万円、長期未払金の返済による支出142百万円及び配当金の支払による支出120百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月15日に公表した平成26年3月期の通期業績予想につきまして、見直しを行いました。

なお、詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」及び「当社子会社の特別損失の発生に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社子会社であった株式会社暁印刷は、平成25年4月24日付けで全株式の譲渡を行ったため、連結子会社から除外しております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,046	2,698
受取手形及び売掛金	1,168	455
商品及び製品	38	—
仕掛品	71	—
原材料及び貯蔵品	177	193
繰延税金資産	226	317
その他	306	532
貸倒引当金	△22	△1
流動資産合計	5,014	4,195
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,418	6,230
機械装置及び運搬具(純額)	456	452
工具、器具及び備品(純額)	415	411
リース資産(純額)	385	345
土地	1,746	1,393
建設仮勘定	5	43
有形固定資産合計	9,427	8,877
無形固定資産		
のれん	2,091	1,978
その他	312	266
無形固定資産合計	2,404	2,245
投資その他の資産		
投資有価証券	955	1,084
長期貸付金	13	11
敷金及び保証金	3,007	2,822
繰延税金資産	1,190	629
その他	141	85
貸倒引当金	△36	△0
投資その他の資産合計	5,272	4,633
固定資産合計	17,104	15,756
繰延資産	10	4
資産合計	22,128	19,955

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,059	1,297
短期借入金	10,494	10,000
未払金	475	473
未払費用	687	762
未払法人税等	288	21
賞与引当金	200	78
リース債務	158	157
店舗閉鎖損失引当金	52	29
株主優待引当金	15	31
その他	296	240
流動負債合計	14,728	13,093
固定負債		
長期借入金	2,505	1,755
リース債務	316	264
その他	442	290
固定負債合計	3,264	2,310
負債合計	17,993	15,404
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,767	2,769
資本剰余金	4,987	2,529
利益剰余金	△3,400	△675
自己株式	△1	△2
株主資本合計	4,352	4,620
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△206	△64
繰延ヘッジ損益	△10	△4
その他の包括利益累計額合計	△217	△69
純資産合計	4,135	4,551
負債純資産合計	22,128	19,955

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	21,351	18,838
売上原価	7,657	5,826
売上総利益	13,693	13,011
販売費及び一般管理費	12,444	12,361
営業利益	1,248	650
営業外収益		
受取利息及び配当金	17	16
受取賃貸料	42	36
その他	19	25
営業外収益合計	79	79
営業外費用		
支払利息	257	203
その他	55	35
営業外費用合計	312	238
経常利益	1,016	491
特別利益		
子会社株式売却益	—	598
その他	4	1
特別利益合計	4	600
特別損失		
固定資産除却損	53	33
減損損失	24	99
店舗閉鎖損失引当金繰入額	7	41
その他	4	0
特別損失合計	90	174
税金等調整前四半期純利益	930	917
法人税、住民税及び事業税	223	85
法人税等調整額	244	447
法人税等合計	468	533
少数株主損益調整前四半期純利益	462	383
四半期純利益	462	383

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	462	383
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△72	142
繰延ヘッジ損益	4	5
その他の包括利益合計	△67	148
四半期包括利益	394	531
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	394	531
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	930	917
減価償却費	868	787
のれん償却額	107	107
繰延資産償却額	5	4
減損損失	24	99
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	10	△4
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△111	△80
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	△65	△23
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	—	16
新株予約権発行に伴うみなし人件費	4	4
受取利息及び受取配当金	△17	△16
支払利息	257	203
子会社株式売却損益 (△は益)	—	△598
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	—	△0
固定資産除売却損益 (△は益)	53	32
売上債権の増減額 (△は増加)	△80	△21
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△28	△18
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	89	△101
仕入債務の増減額 (△は減少)	55	62
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△16	28
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	80	△84
その他	△109	△79
小計	2,058	1,231
利息及び配当金の受取額	17	16
利息の支払額	△283	△144
法人税等の支払額	△131	△380
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,660	723
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△576	△802
有形固定資産の売却による収入	—	1
無形固定資産の取得による支出	△57	△31
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	—	2
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	624
短期貸付金の増減額 (△は増加)	△0	—
長期貸付けによる支出	—	△0
長期貸付金の回収による収入	3	603
長期未収入金の増減額 (△は増加)	3	—
敷金及び保証金の差入による支出	△51	△69
敷金及び保証金の回収による収入	158	222
預り保証金の返還による支出	△1	△0
預り保証金の受入による収入	—	0
その他	△3	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△526	554

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△1,834	△1,244
長期未払金の返済による支出	△157	△142
リース債務の返済による支出	△128	△119
株式の発行による収入	0	0
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△63	△120
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,184	△1,625
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,050	△347
現金及び現金同等物の期首残高	4,148	3,046
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,098	2,698

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	外食サービス 事業	印刷流通事 業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	19,014	2,337	21,351	—	21,351	—	21,351
セグメント間の内部売上高 又は振替高	33	143	177	—	177	△177	—
計	19,048	2,480	21,528	—	21,528	△177	21,351
セグメント利益	1,364	178	1,542	—	1,542	△293	1,248

(注) 1. セグメント利益の調整額△293百万円には、セグメント間取引消去423百万円、のれんの償却額△107百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△609百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

外食サービス事業において、一部の店舗について固定資産簿価の回収が困難であると判断し、24百万円の減損損失を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

当社グループは「外食サービス事業」の単一セグメントであり、開示情報としての重要性が乏しいと考えられることから、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社グループは、従来「外食サービス事業」と「印刷流通事業」の2事業を報告セグメントとしておりましたが、当第3四半期連結累計期間より「外食サービス事業」の単一セグメントに変更しております。

この変更は、「印刷流通事業」を営む連結子会社株式会社暁印刷の株式を全て譲渡したことにより、第1四半期連結会計期間より、連結の範囲から除外したことによるものであります。

(重要な後発事象)

当社は、平成26年2月6日開催の取締役会において、中期経営計画を支える財務基盤を強化する目的で、第三者割当によるB種優先株式の発行並びに資本金及び資本準備金の額の減少を決議いたしました。

これらは、平成26年3月28日開催予定の臨時株主総会における議案（「定款一部変更の件」、「第三者割当による優先株式発行の件」及び「資本金の額及び資本準備金の額の減少の件」）の承認を条件としています。

(1) 第三者割当によるB種優先株式発行

① 払込期日 (発行日)	平成26年3月31日(予定)
② 発行新株式数	B種優先株式 1,000株
③ 発行価額 (払込金額)	1株につき1,000,000円
④ 調達資金の額	1,000,000,000円
⑤ 資本組入額	500,000,000円(1株につき 500,000円)
⑥ 当初転換価額	906円
⑦ 優先配当	優先配当率 年率8.5% 優先配当金1株につき 85,000円 (ただし、平成26年3月31日に終了する事業年度に属する日を基準日とする 優先配当金の額は、1株につき、0円)
⑧ 募集又は割当方法 (割当先)	株式会社日本政策投資銀行に対する第三者割当方式
⑨ 発行済株式数 (平成25年12月31日現在)	普通株式 24,329,600株 A種優先株式 2,400株
⑩ 募集(発行)後における 発行済株式総数	普通株式 24,329,600株 A種優先株式 2,400株 B種優先株式 1,000株

(2) 資本金及び資本準備金の額の減少

① 目的	財務体質改善のため、上記B種優先株式発行の効力発生を条件として、資本金及び資本準備金の減少を行う。
② 資本金	1,669,680,800円をその他資本剰余金に振り替える。
③ 資本準備金	102,006,550円をその他資本剰余金に振り替える。
④ 減資の効力発生日	平成26年3月31日(予定)